

「おばあちゃんの耳って

こんなに大きかったかしら？」

「そうだよ。」

大きな耳はお前の声を

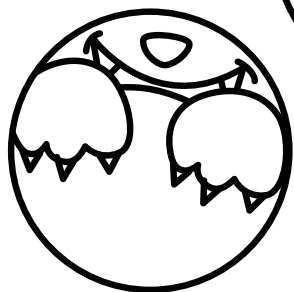
よく聞きためさ」



「手が大きいのは、なぜ？」

「この大きな手で

お前を抱くためだよ」



「では、なぜおばあちゃんのお口は

そんなに大きいのか？」

「それはね、あかずきん……」

「お前を食べるためさ！」

なんてことでしょう！

オオカミは

赤ずきんちゃんも

パクリとのみこんで

しまいました！

「ああ、おなかいっぱいだ。

さて、ひとねむりするか」

と、オオカミはねむりはじめました。

